

試験科目(論文)

受験番号	番
フリガナ	
氏名	

【問題1】

学校では、夏休みなどの長期の休暇期間は自由に行動ができるので、子どもの行動が変化しやすいことが指摘されている。中学生においてはさまざまな経験をし、場合によっては非行などの不適切な方向への行動変化が懸念される。

本研究では自分を律する特性としてセルフコントロールに注目して、子どものセルフコントロールと夏休み前から夏休み後の非行行動の変化の大きさを調べたい。セルフコントロールについては尺度を用い、夏休み前に実施する予定である。非行傾向については中学生で10%ほどみられる非行傾向の経験の有無を調べる数項目(タバコを吸うなど)について、「ある」か「ない」の2択で回答を求めるとし、夏休み前と夏休み後の2回同じ質問をする予定である。

これらのことを踏まえて、以下の問いに答えなさい。

- 1) この計画の仮説を立てるとしたらどのような仮説になるか(5点)。ここで書かれていることをもとにすると独立変数と従属変数はそれぞれ何か(5点)。
- 2) 非行行動の調査のように実施時期を変えて、同じ子どもに複数の回答をさせる研究法をなんとするか(10点)。
- 3) セルフコントロールの強さに基づいて、高いグループと低いグループに分けて分析したいが、どのような手続きが考えられるか(10点)。
- 4) この調査は、自己評価の質問紙が用いられているがデメリットは何か(15点)。
- 5) 仮説を検証するためにどのような分析方法が考えられるか(15点)。

【問題2】 次の心理用語について、100字程度で説明しなさい。

- (1) 愛着 (10点)
- (2) オペラント条件づけ (10点)
- (3) 自己開示 (10点)
- (4) ワーキングメモリー (10点)

採 点 欄